

福岡県医発第 70 号（総）

平成 19 年 4 月 13 日



各 医 師 会 長 殿
各医師会生涯教育担当理事 殿

福岡県医師会
会長 横倉 義武
(公印省略)

医師国家試験問題の公募について協力をお願い

平素より本会生涯教育制度推進にご協力賜りまして誠にありがとうございます。

さて、日本医師会では日本医師国家試験作成を日本医師会生涯教育制度の一環として行なうこととしており、医師国試問題の公募についての協力依頼が本会へもまいっております。

先般の各医師会生涯教育担当理事者会におきまして担当理事の先生方にはお願いをいたしました。今年度も医師国試問題を募集しておりますので、貴会会員におかれましても、積極的にご応募くださいますよう、貴職の特段の配慮をお願い申し上げます。

なお、日医へ提出いたしますので、福岡県医師会へは 5 月 1 日までに提出いただきますようお願いいたします。問題作成についての具体的な事項につきましては別紙をご参照ください。

小郡三井医師会より

担当理事 永田正和



医師国家試験公募問題作成について

1. 趣旨

最近の医師国家試験は、合否基準、試験問題の公募、プール制の導入、試験問題の回収など、多くの点で改善が行われている。

このうち試験問題については、平成 13 年から全国の大学医学部・医科大学教員からの公募が開始されており、日本医師会会員にもお願いすることが、医師国試改善検討委員会で決定されている（平成 15 年 4 月 17 日）。

公募された試験問題は、厚生労働省内委員会でブラッシュアップされ、数万題の試験問題が蓄積され、いわゆるプール制が施行されて、良質な試験問題がくり返し出題されることになる。

地域医療に携わる臨床経験豊富な日医会員も生涯教育の一環として、医師国家試験問題を作成し、わが国の良き医師養成に参加することを望みたい。

2. 取得単位

会員が作成した試験問題は所属の都道府県医師会に提出する。取得単位数については、一般問題と臨床実地問題によって取得単位は異なるものと思われるが、当面 3 単位とする。

3. 出題範囲と出題形式

(1) 出題範囲は、医師国家資格試験出題基準（平成 17 年版）の以下の中からとする。（「医師国家資格試験出題基準（平成 17 年版）」は既に平成 16 年 12 月 28 日にお送りしてございます）

① 必修の基本的事項

② 医学総論

I. 保健医療論

II. 予防と健康管理・増進

(2) 出題形式は、A タイプ（5 肢 1 択形式）とする。

(3) 一般問題、臨床実地問題、いずれでもよい。

4. 会員の応募問題のとりあつかい

- (1) 都道府県医師会生涯教育担当者は、会員が応募した問題を取りまとめ、日医生涯教育課宛に郵送する。
- (2) 都道府県医師会生涯教育担当者は、出題者名を記録し、その年度の生涯教育一括申告データに取得単位を加算する、あるいはその年度の申告書に取得単位の記載があるかどうかチェックする。
- (3) 日医生涯教育課は都道府県医師会から提出された出題を厚生労働省の国試フォーマットに入力する。プリントアウトしたものを生涯教育推進委員会委員長と担当理事で検討したうえ、生涯教育課から厚生労働省（インターネット）に一括して送る。